

独立行政法人奄美群島振興開発基金の令和4事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、主務大臣による令和4年度の評価結果が「B」評価であったことを踏まえ、役員解任等は行わなかった。
----------	---

2. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	令和4事業年度評価における主な指摘事項	令和5年度及び令和6年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	—	—
業務運営の効率化に関する事項	—	—
財務内容の改善に関する事項	<p>(財務内容の改善)</p> <p>○ リスク管理債権額が減少傾向にあることは、奄美基金が債権の管理・回収の強化を適切に実施してきた結果である。奄美基金は利用者に対する情報提供や利用者の利便性確保等の取組を実施しているところであり、今後これらの取組を更に強化することで優良資産確保に努めるとともに、コンサルティング機能の強化等、経営・再生支援の取組による債務者区分のランクアップに努めることで、一定規模の優良資産の確保等の改善策を着実に実行し、リスク管理債権割合の抑制を図る。</p>	<p>○ リスク管理債権の抑制については、地域経済の状況も大きく影響するところであるが、管理・回収の強化及び経営・再生支援の取組による債務者区分のランクアップに努めるほか、事業者訪問の効果を高めること等により一定規模の優良資産の確保等を進めながら、財務内容の改善、リスク管理債権割合の抑制を図る。</p>

	<p>(繰越欠損金の削減)</p> <p>○ 繰越欠損金の削減のため、奄美基金が期中管理体制の強化や一般管理費の削減に取り組み、その結果、一定の成果が出ていることは評価することができる。しかしながら、評価の視点である繰越欠損金の削減状況については、目標を大幅に下回る結果となっており、財務状況改善のためには、引き続き期中管理体制の強化や一般管理費の削減に努め、一定規模の優良資産の確保等自己収入増加策を推進していく必要がある。</p> <p>他方、奄美基金は、奄美群島振興開発特別措置法に基づき、一般の金融機関が行う金融を補完し又は奨励することを目的としていることを踏まえると、財務内容を劇的に改善することは困難度が高い。次期中期目標の策定に当たっては、奄美基金の設立目的に応じた目標を検討していく必要がある。</p> <p>(予算、収支計画、資金計画)</p> <p>○ 予算及び資金計画の管理については、適切に実施した。また黒字化のために各種取組を行っていることについては評価できる。一方で、収支計画については総利益 11 百万円のところ、決算は 124 百万円の総損失を計上している。財務内容の改善のため、引き続き、期中管理の徹底等によるリスク管理債権の削減及び一般管理費の削減等に努めるとともに、一定規模の優良資産の確保等自己収入増加策を推進し繰越欠損金の削減等の対策を実施していく必要がある。</p>	<p>○ 引き続き、審査の厳格化、期中管理の徹底及び事業者に対する経営・再生支援の措置などによるリスク管理債権の削減、一般管理費の削減及び一定規模の優良資産の確保など自己収入増加策を推進し、単年度収支の改善・繰越欠損金の早期削減に努める。</p> <p>○ 引き続き、審査の厳格化、期中管理の徹底及び事業者に対する経営・再生支援の措置などによるリスク管理債権の削減、一般管理費の削減及び一定規模の優良資産の確保、保証業務に係る運用の改善など自己収入増加策を推進し、財務内容の改善に努めることとしている。</p>
--	---	---

その他の事項	—	—
その他主務省 令で定める業 務運営に關す る事項	—	—